2008年11月26日　歴史でエコ新聞

歴史でエコ新聞

作成者
下阿部 優奈
下阿部 夏実

江戸の人々は地球に優しかった!?

江戸の町はとてもきれいだったといいます。その理由は江戸の人々のエコ生活が関係しているらしい…。江戸の町をのぞいてみましょう!

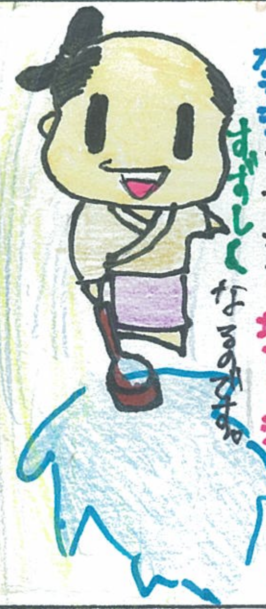
電気がなくても快適にッ.

暑い夏、江戸時代には、電化製品など今のように便利なものはありませんでした。

江戸の人は考えた!

暑い夏をできるだけ快適にすごすために。そう。水まきをしました。

水まきをすると地面の温度が下がり、すずしくなるのですね。



江戸の人はおそうじ上手?

江戸の町は、ごみも少なくとてもきれいでした

これを見た外国の人々は、

『だれも足をふみ入れたことのないのではと思うほど清潔だ!』

…と言ったそうです。

江戸の人はリサイクル上手

江戸時代でも、今のように古着屋などがありました。この時代、新しい着物は、とても高価なもので、なかなか新しいものは買えませんでした。でも、どうしても破れてしまったりで着れなくなった着物だってあります。

そこで…江戸の人々は考えた!

古くなった着物をおむつやぞうきんにしたのです!これで着物も最後までムダなくつかえます。

他にもわれた茶わんを修理したり、げたの鼻緒を直したり、江戸の人々はとてもリサイクルが上手だったんですね。

おばあさんやおじいさんのときは、親に『ごはんを残さず食べなさい!』と教えられたものです。

それとささの葉などでおにぎりをくるんだものです。そうすると、もやさなくても土にかえるので、今でいうエコだったのかもしれません。

それに、ご飯を残さず食べるということも立派なエコなのです。

感想・まとめ

江戸の人々は、左の4Rを全て行っていました。しかし、今の人々は、この4つの中の一つさえ行っているかどうかもあやしいところです。

わたしたちはこれから、江戸の人々を見習ってこの地球をきれいにしていくことが、とても大切になってくるのではないのかと思いました。

4Rを心がけよう

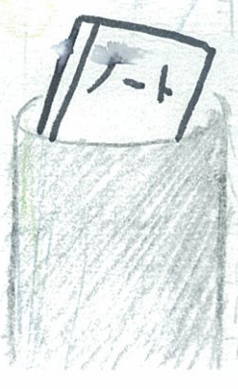
Reduce（リデュース）ムダなものを減らす
Reuse（リユース）何度も使う
Recycle（リサイクル）資源として再利用する
Refuse（リフューズ）いらないものは断る

最後に…

あなたは電気をつけたままにしたり、寒い時や暑い時に、何の工夫もせずに、ただ、あたたまること、すずしくなることだけを考えて電気を使っていませんか?

あなたはごみをただ、道路や川などへ捨てたり、分別をせずに捨ててはいませんか?

あなたは、まだ使える物をむやみに捨ててはいませんか?



今、地球が泣いています。動物たちも泣いています。今、私たちは地球や動物たちのためにできることをしていかなければないのでしょうか。